

神奈川県圏央道連絡調整会議（第2回）
議事概要

1. 日時等

令和2年1月16日（木） 15:00～16:00
TKP横浜会議室 7F（カンファレンスルーム7B）

2. 出席者

神奈川県 県土整備局 技監（兼）道路部長 大島 伸生
横浜市 道路局 横浜環状道路調整担当理事 高瀬 卓弥
国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所長 大江 真弘
東日本高速道路株式会社 関東支社 横浜工事事務所長 渡邊 正彦

3. 議事

- (1) 工事課題への対応方針と工程精査の結果について
- (2) 意見交換

4. 議事概要

（事業者より説明）

○横浜湘南道路・高速横浜環状南線の工事の課題について、有識者委員会において以下のとおり技術的な確認を行った。

- ・横浜環状南線については、庄戸地区の低土被り部において、より安全に施工するための仮設方法等の課題について、周辺影響を抑制するため導坑を円形にし、さらに補助工法の範囲を追加するなどの仮設方法を採用することを確認。
- ・横浜湘南道路については、可燃性ガス（メタンガス）の濃度が高い中、実施する地中接合の施工方法の課題について、可燃性ガスのトンネル内への流入防止のため、薬液注入を追加することを確認した。
また、近接施工区間を安全に工事するための施工管理の課題に対して、トンネル変形防止のため、支持装置及び変位計測を追加することを確認した。

○追加の安全対策等を踏まえ工程を精査した結果、横浜湘南道路の開通は2024年度、横浜環状南線の開通は2025年度となる見込み。

また、これらの安全対策等に伴い、両路線の事業費は7,320億から10,420億に増える見込み。

事業進捗や事業費の増加も含めた事業の必要性については、事業評価監視委員会で審議する予定としている。

○高速横浜環状南線で、平成16年度より実施している環境影響の照査を行ったところ、大気汚染、騒音、振動及び低周波空気振動の環境項目について、それぞれ環境保全目標を満たしていることを確認した。

（意見交換）

○神奈川県・横浜市から以下の意見があった。

- ・横浜湘南道路及び横浜環状南線については、早期開通できるよう事業を推進するとともに、より一層のコスト縮減に努めてほしい。
- ・円滑に事業を推進し、早期開通を図るため、必要な予算を確保するとともに、有料道路事業の更なる活用など様々な手法を検討してほしい。
- ・早期開通のため、引き続き用地取得や工事推進に協力していく。